

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：青少年対策費

事業名 地域子育て力向上広域連携促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子ども・女性政策課 青少年係

電話番号：058-272-1111(内3521)

E-mail：c11239@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額： 1,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
要求額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

地域における子どもたちの活動を支え、地域住民から高い評価を得ている個人及び団体で構成する「ぎふ親子ほのぼの推進ネットワーク」に対し、市町村の区域を越えて広域的に実施する子育て支援事業の経費を補助することにより、子育て力・教育力の向上に向けた生涯学習活動を推進する。

自己資金を持たず、ボランティアにより各地域で活動を実施している団体であり、事業継続にあたっては事業運営費用の支援が必要な状況であり、資金面での手当てを実施することで、組織として広域的な事業展開と、より多様かつ強固なサポート体制を構築することが可能となることから補助金により同団体の活性化を支援し、子どもに関わる分野で実践活動ができる人材の資質向上・連携強化や地域での実践活動の普及等を図るものである。

(2) 事業内容

市町村の区域を超えた広域的な子どもに関わる支援活動の活発化、支援活動に携わる人材の育成及び支援活動の連携の強化に必要な事業。

(3) 県負担・補助率の考え方

地域の子育て力・教育力の向上を目指し、全県的にネットワークの強化の促進を図るのであり、県が支援する必要がある。

また、団体として自己資金を持たないため、予算の範囲内で対象経費を全額補助する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,000	ぎふ親子ほのぼの推進ネットワークが実施する地域子育て力向上広域連携促進事業費について、1,000千円を上限として補助 (事業) <ul style="list-style-type: none">・総会(1回)及び役員会(2回)実施費・各地区における地域交流会の実施費
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 後年度の財政負担

当ネットワークの構成団体はボランティア団体であり、安定的な収入の確保は困難である。県内各圏域での子育て支援団体間のネットワーク構築及び活動の活性化を図るため、今後も財政支援を継続していく。

(2) 事業主体及びその妥当性

県では、子どもを対象とした地域教育活動を熱心に行い、各地域で高い評価を得ている個人及び団体に「岐阜県地域子ども支援賞」を贈呈しており、本賞被贈呈者の有志で組織される「ぎふ親子ほのぼの推進ネットワーク」を事業主体としている。
県内全域を対象として子育て力・教育力の向上に取り組んでいる団体は他になく、地域における子育て活動のネットワークづくりにあたり事業主体として相応しい。

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業
☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	地域子育て力向上広域連携促進事業費補助金
補助事業者（団体）	ぎふ親子ほのぼの推進ネットワーク （理由） 地域の子育て力・教育力の向上に向けた生涯学習活動を推進するため。
補助事業の概要	（目的） 市町村の区域を越えて広域的に実施する子育て支援事業の経費を補助することにより、子育て力・教育力の向上に向けた生涯学習活動を推進する。 （内容） 地域における子供たちの活動を支え、地域住民から高い評価を得ている個人及び団体に構成する「ぎふ親子ほのぼの推進ネットワーク」が実施する、市町村の区域を超えた広域的な子供に関わる支援活動や、支援活動に携わる人材の育成及び支援活動の連携の強化に係る事業に対して補助を行う。
補助率・補助単価等	定額（1,000千円） （内容） 団体の子育て支援活動の実施に係る経費を補助する。 （理由） 「地域子ども支援賞」の受賞者で構成された地域活動の模範となる団体に補助することで、より広域のかつ多様な子育て支援体制を構築することが可能となり、県が推進する地域の子育て支援活動の普及を図る一助となるため。
補助効果	市町村の区域を超えた広域的な子供に関わる支援活動の活発化、支援活動に携わる人材の育成及び支援活動の連携強化により、地域全体で子供を育てる環境を整備することができる。
終期の設定	終期：令和10年度 （理由） 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

地域において子育て支援活動を行う個人及び団体間の組織力を強化し、地域の子育て支援実践者によるネットワークを活かした支援体制が県内全域に行き渡る環境を築く。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R4年度)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
イベント参加人数	532	701	650	650	650	107%

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	783千円	1,000千円	911千円

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	各圏域において読み聞かせや子育て応援フェスタ等の子育て支援イベントを開催し、親子のふれあいの時間を創出したとともに、会員同士の交流の機会を設けることでネットワークや広域的連携体制が強化された。
令和5年度	各圏域において腹話術やサイエンスショーといった子育て支援イベントを開催し、質の高いネットワーク会員の活動を提供したとともに、会員間の交流、研修等を通じて県内全域の会員間の組織力が強化された。
	指標① 目標：650 実績：585 達成率：90 %
令和6年度	各圏域において腹話術やサイエンスショーといった子育て支援イベントを開催し、質の高いネットワーク会員の活動を提供したとともに、会員間の交流、研修等を通じて県内全域の会員間の組織力が強化された。
	指標① 目標：650 実績：701 達成率：107 %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	少子化、家庭環境や生活様式の変化、地域コミュニティの機能低下という社会情勢の中、次世代を担う子ども達の健やかな成長を促すにあたり、地域全体で子どもを見守り育てる環境整備が必要とされている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
2	地域教育活動の分野において、核となる人物が中心となり、市町村の区域をまたいだ広域的な子育て支援事業に取り組んでいる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	役員が活動の中心を担うのではなく、各圏域で核となる人物がそれぞれ活動の企画・運営を行うことで、地域住民の実態に合ったイベント内容を提供可能な体制が整いつつあり、事業の効率性が図られているところである。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 全県的な子育て支援活動の推進に向け、子育て支援実践者によるネットワークづくりを推進する必要がある。また、各地域で計画立案ができるような人材発掘及び広域的な連携体制の整備が必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域の子育て力・教育力の向上を図り、全県的なネットワークの強化を推進するため、継続して効果的な活動を実施するために必要な支援を行っていく。周期到来後は継続・削減・統合・廃止を検討。
